

Panasonic

屋内レシーバー

品番 **WV-RC100**

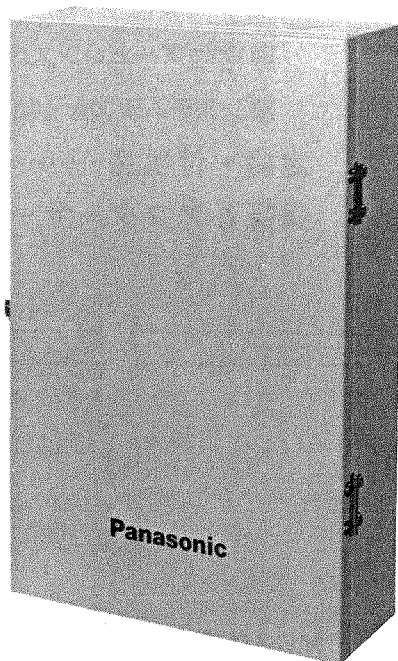
取扱説明書

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック屋内レシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

もくじ

安全上のご注意	Ⅱ
システムの説明	2
■概要	2
■機能	2
■システムの接続例	3
■外観寸法図	4
各部の名称と働き	5
設置・使用上のお願い	7
設置のしかた	7
接続のしかた	8
■接続のしかた	8
■補助リレー (AUX1.2) 接続	8
■オーディオボードWV-PB10の組み込みかた	9
スイッチの設定	10
■使用／未使用スイッチ (SW1) の設定	10
■モードスイッチ (SW2) の設定	10
調整とシステムテスト	11
■ランダムパンニングの調整	11
■電動ズームレンズの電圧調整	12
■システムテスト (動作確認)	12
定格・付属品	14
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

定期的に点検をする



金具やねじが錆びると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない



取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。

禁止

重量に耐える場所に取付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

●取付場所を補強してください。

屋内用を屋外に設置しない



屋内専用機器は、屋外に設置すると雨などで取り付け部が劣化し、落下などの事故の原因となります。

禁止

システムの説明

■概要

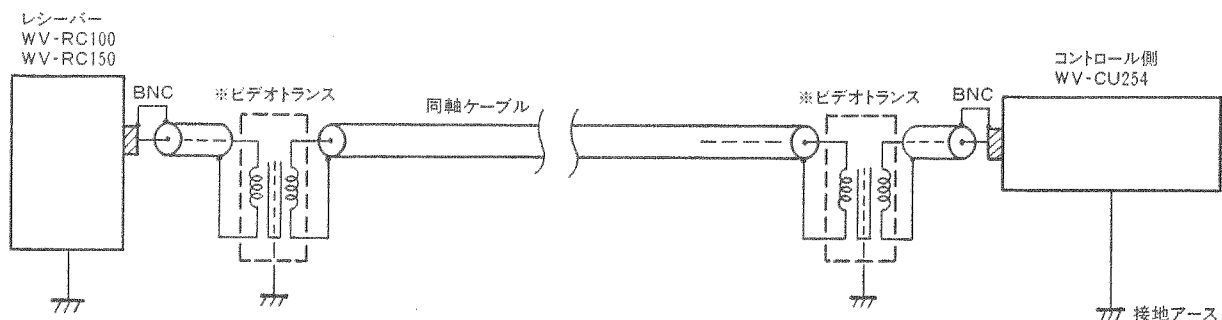
- システムコントローラWV-CU254によって、カメラ、回転台、レンズをリモートコントロールする監視カメラシステムのカメラ側の屋内用レシーバーです。
- カメラ映像信号に制御信号、音声信号を多重し、同軸線1本でコントローラと接続できます。
- 双方向の音声通話(音声モニタ)が可能です。(オーディオボード(WV-PB10:別売)組み込み時。)

■機能

- カメラ電源 (AC24V) 入切。
- 回転台コントロール。(上下左右、オートパンニング (ランダムパンニング可能)。)
- 電動ズームレンズコントロール。(アイリス、フォーカス、ズーム)
レンズ電圧 6 V、12V 切換。(電圧調整可能)
- 補助リレー (AUX) 入切 (2 回路)。ラッチ、モーメンタリーの 2 モード選択可能、照明器具・電気錠などの制御に利用できます。
- 音声通話 (双方向)。1 W のアンプを内蔵し、スピーカを直接つなげます。
- カメラの状態表示。(WV-CU254 に接続したビデオ受像機に文字表示します。)
- カメラ、回転台、レンズなどの自動テスト機能。
- カメラ映像信号が無くても制御信号は送れます。(ダミー同期回路内蔵)

付属アースリード線で接地アースに接続する場合のご注意

落雷などの保護として、取扱説明書8ページに示すように付属のアースリード線を使用し接地アースに接続した場合、カメラの映像信号が同軸ケーブルでコントロール側へ送られると、レシーバーとコントロール側の接地電位の相違により低周波誘導電流が同軸ケーブルを流れ、コントロール側の画面にハムノイズを混入させることがあります。この障害を取り除くためには、カメラの映像信号にビデオトランスを使用してください。



※コネクタ付ビデオトランス(BNC-BNC) KV-75BSUM

販売元 日本光電工業(株) 変成器(事)

ビデオトランスについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムの説明

■システムの接続例

●屋内で使用する場合

カメラ……………WV-CL700、CL704、CP410、
CP414、CP610、CP614、BP310、
BP314、BP510、BP514

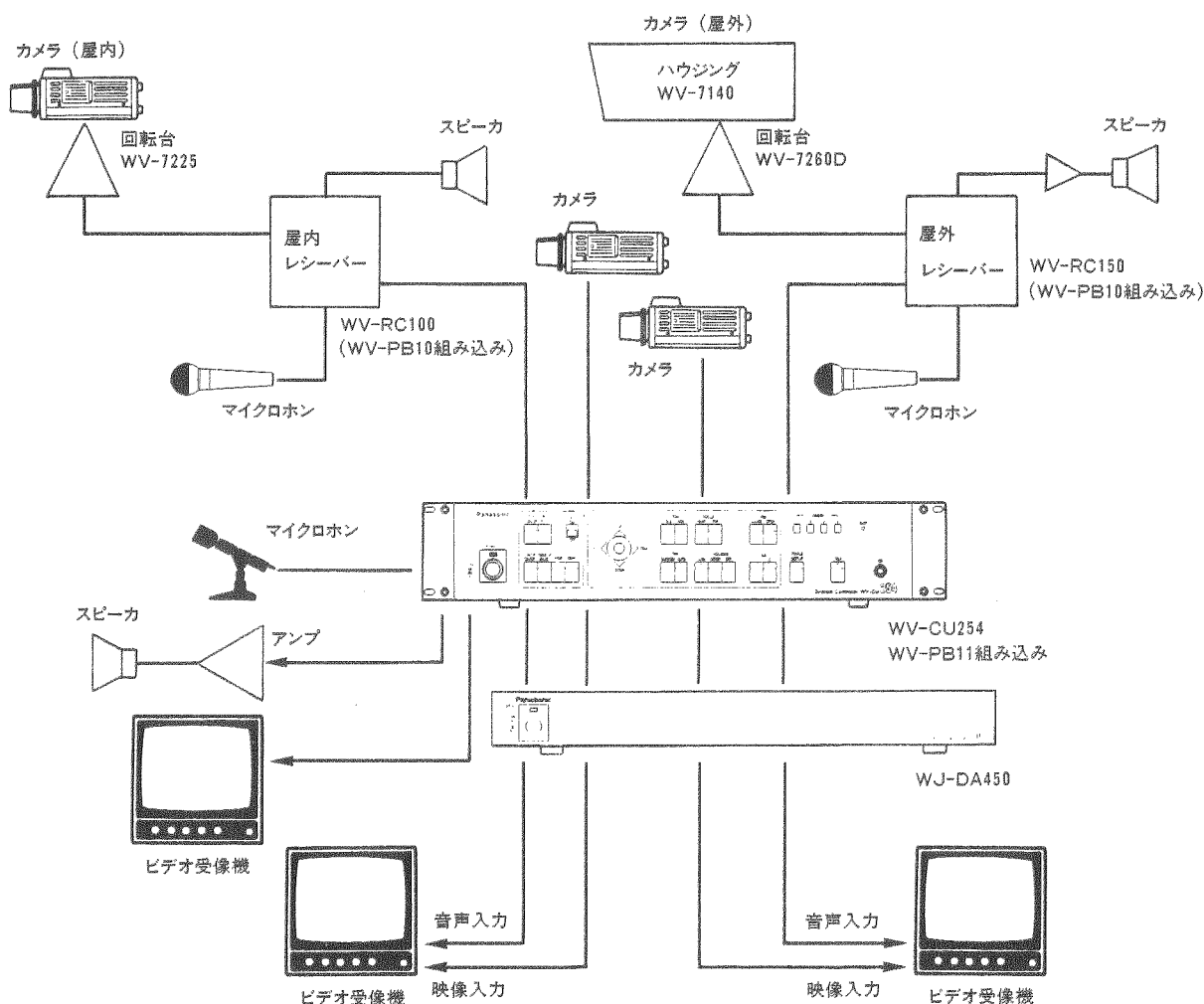
システムコントローラ…WV-CU254

屋内レシーバー……………WV-RC100

オーディオボード ……WV-CU254用…WV-PB11
WV-RC100用…WV-PB10

AV復調器 ……………WJ-DA450

回転台 ……………WV-7225、7220D、7230D



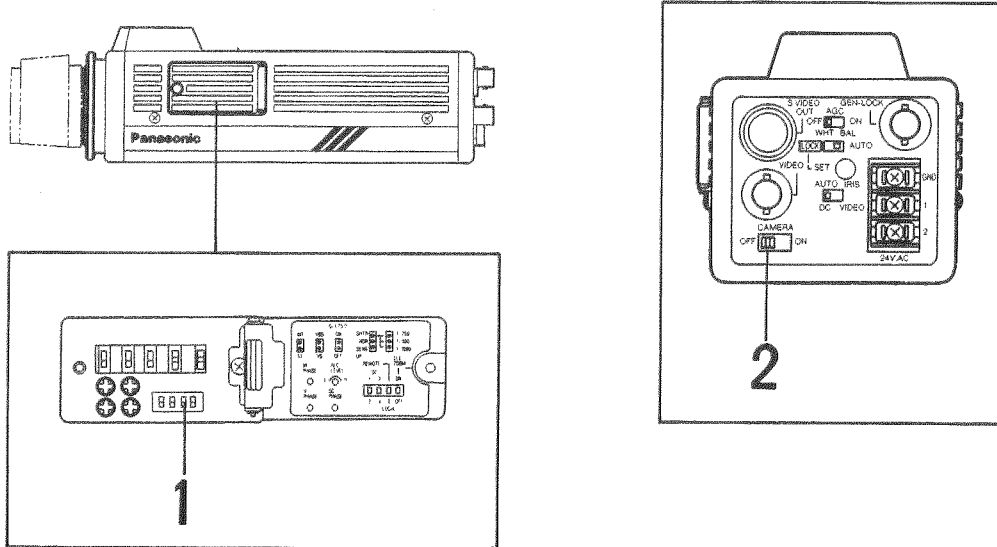
- 接続に先立ち、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- WJ-DA450を接続すると、ビデオ受像機でカメラを個々にモニタし、同時にカメラ側の音声を聞くことができます。
- 屋外で使用する場合は、屋外レシーバーWV-RC150があります。(WV-RC150取扱説明書参照)
- カメラ電源入切をリモートコントロールする場合は、必ずAC24V用カメラを使用してください。

●カメラはリモートコントロールできるように、設置前にセットしてください。

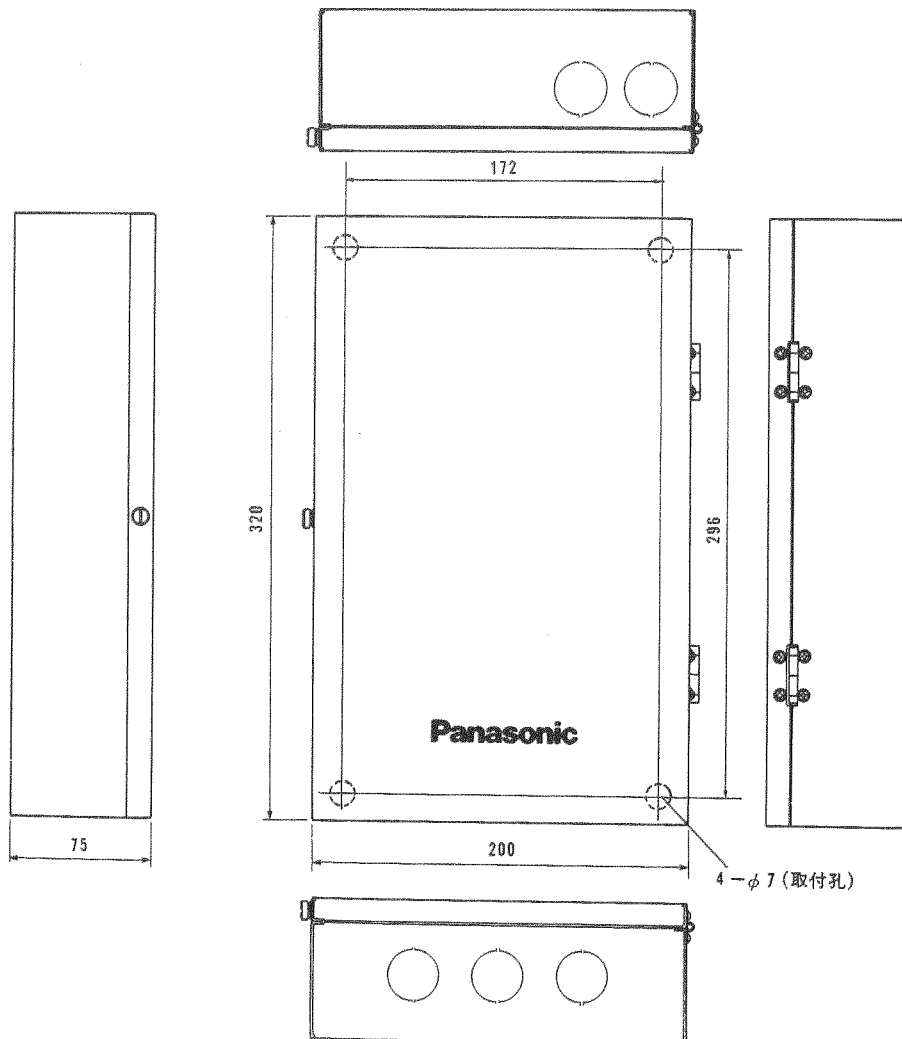
(例) WV-CL704の場合

※接続するカメラによって違います。カメラの取扱説明書を合わせてお読みください。

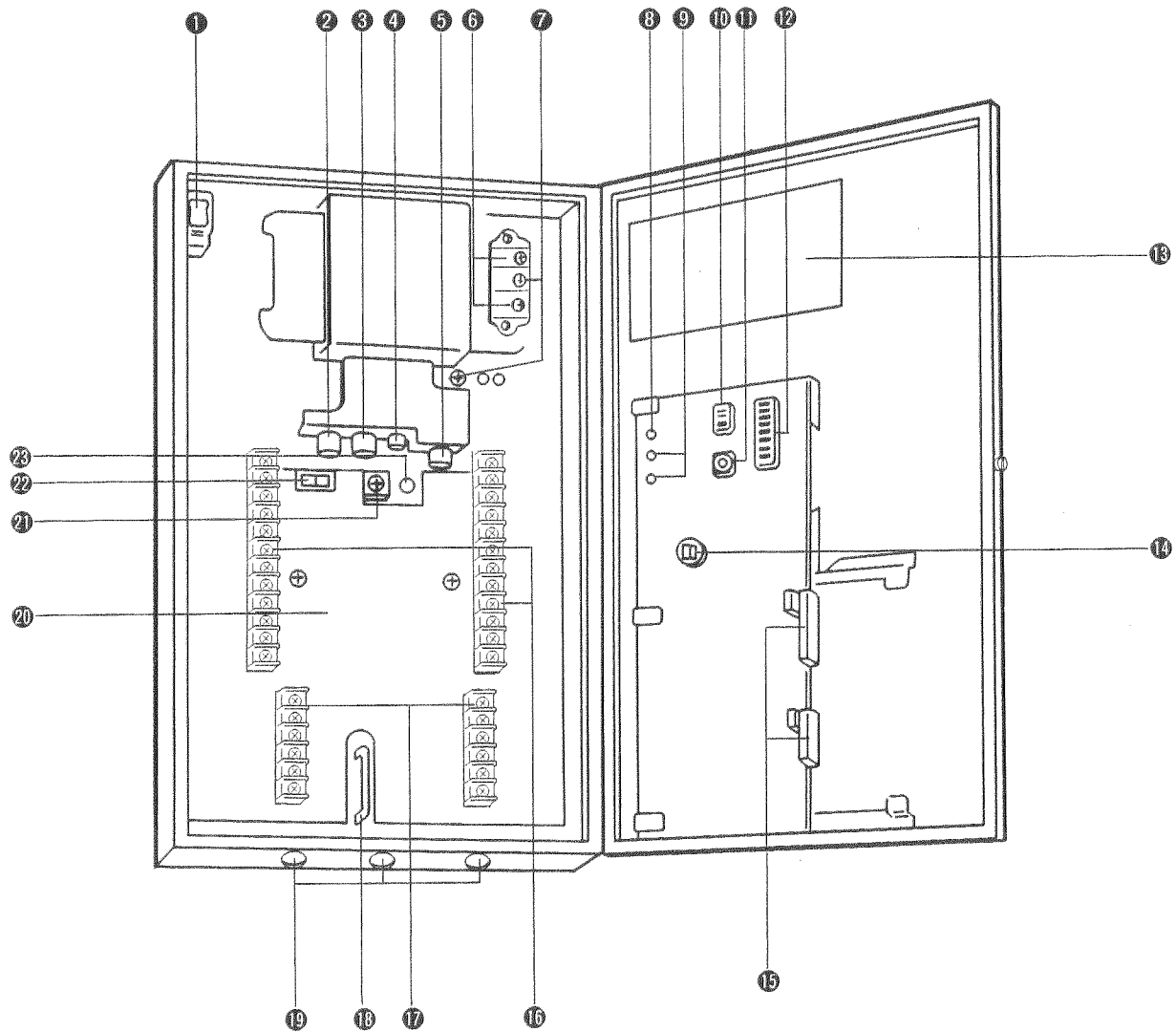
- 1 リモート/ローカル切換スイッチを「REMOTE」にします。(WV-CL704の場合)
- 2 電源スイッチを「ON」にします。



■ 外観寸法図



各部の名称と働き



①電源スイッチ

電源を入れると電源LED⑧が点灯します。

②カメラ入力コネクタ〔CAMERA〕(BNCコネクタ)

カメラの映像出力を接続します。

③映像出力コネクタ〔CONTROLLER〕

(BNCコネクタ)

システムコントローラWV-CU254のカメラ入力コネクタ(MPX IN)に接続します。

④音声出力端子〔AUDIO OUT〕(ピンジャック)

オーディオボードWV-PB10を組み込み、外部アンプを接続するときの音声出力です。

(-10dBV、負荷10K Ω 以上)

⑤マイクロホン入力ジャック〔MIC〕

(大形複式ジャック)

オーディオボードを組み込み、コントローラ側と通話(音声モニタ)するときに、マイクロホンを接続します。(600 Ω 平衡、不平衡マイクも使えます。)

⑥AC電源接続端子

AC100V、50/60Hz、85W

⑦アース端子

(8ページ参照)

⑧電源LED〔POWER:赤〕

- ⑨データ表示LED〔CHECK:緑、オレンジ〕**
 制御信号(データ)を受信しているときに点滅します。
- システムテストスイッチ**⑪**を押したときは、(システムテスト中)交互に点滅します。
- ⑩モードスイッチ〔SW2〕**(10ページ参照)
 ランダムパンニング、補助リレー(AUX1、AUX2)のモードを切り換えます。
- ⑪システムテストスイッチ〔SW3 SYSTEM TEST〕**
 これを押すと、接続されているカメラ、レンズ、回転台の動作確認を自動的に行います。(12ページ参照)
- ⑫使用/未使用スイッチ〔SW1〕**
 補助1・2、自動パンニング、カメラの使用(ON)/未使用(OFF)を設定します。(10ページ参照)
- ⑬操作説明ラベル**
- ⑭ランダムパンニング調整器〔VR201 RANDOM PAN〕**
 ランダムパンニング時のパンニング時間(回転角度)を調整します。(11ページ参照)
- ⑮オーディオボード接続コネクタ**
 オーディオボードWV-PB10(別売)を組み込みます。(9ページ参照)
- ⑯接続端子①～②4**
 カメラ電源(AC24V)、回転台、電動ズームレンズ、スピーカの接続端子です。
 (8ページ参照)
- ⑰補助リレー接続端子〔AUX1、AUX2〕**
- 照明器具、電気錠などを、コントローラ側から入切できます。
 - これらの入切用リレーの出力端子です。
 (9ページ参照)
- ⑱ケーブル固定アングル**
 接続端子から、外部へ出るケーブルをクランプ(固定)します。
 (8ページ参照)
- ⑲ケーブル通し孔(底面、上面)**
 外部からのケーブルを通す孔です。
 (7ページ参照)
- ⑳端子台用絶縁紙**
- ㉑レンズ電圧調整器〔LENS DC ADJ VR〕**
 電動ズームレンズの電圧を調整します。
 (12ページ参照)
- ㉒レンズ電圧切換スイッチ〔LOW/HIGH〕**
 LOW:6Vレンズ用(2~9V調整可能、180mA最大)
 HIGH:12Vレンズ用(8~15V調整可能、330mA最大)
 (12ページ参照)
- ㉓レンズテストポイント〔LENS DC T・P〕**
 レンズ電圧を調整するときの電圧測定用テストポイントです。

設置・使用上のお願い (本機の工事は必ず販売店に依頼してください。)

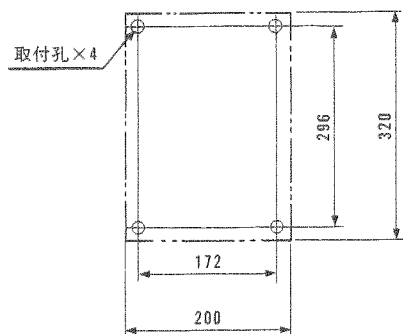
- 本機は屋内用です。雨や露のかかる場所には設置しないでください。
- 温度範囲 $-10^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ 、湿度95%以下の場所に設置し、ご使用ください。
- 接続する機器は、充分特性を調べて(電圧、電流など)、本機の定格内で接続できる機器を選んでください。
- できるだけカメラ(回転台)の近くに設置してください。
- 工事中、電源スイッチは必ず切にしておいてください。
- 上下を逆に設置しないでください。
- AC100V電源線は、配電盤から直接接続するときや、配線工事を要するときは、工事に資格が必要です。
- AC100V電源線は、マイク、スピーカ線や、カメラ入力、映像出力線(音声、映像信号線)と近づけたり、沿わせて束線工事をするとき、ハム(ブーンという音)や、ノイズを拾うことがあるので、レシーバー外ではできるだけ離して配線してください。

設置のしかた

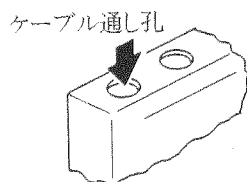
ご注意

取付壁面(柱)や、取付ねじ(現地調達)は、充分重量(約4.7kg)に耐えられるよう、丈夫なものにしてください。

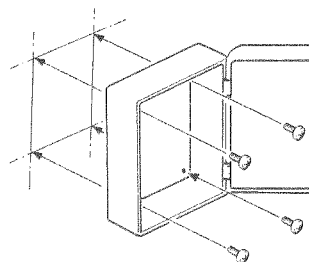
- 1 壁面(柱)に取付用ねじ孔を開ける。(4本)
(取付ねじ(現地調達)に合わせた孔を開けてください。)



- 2 ケーブル通し孔を打ち抜く。
- ケーブルの太さに合わせて、必要最少個数の孔を底面又は上面に開けます。
 - 工具(ドライバー、ハンマーなど)で強く押し当てて打ち抜きます。



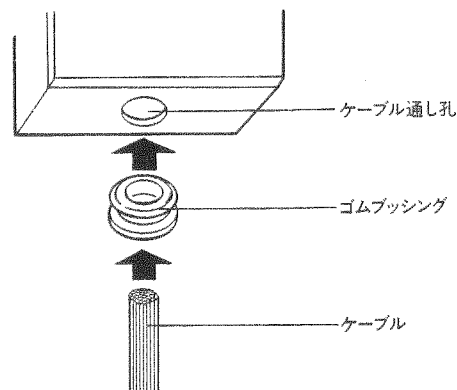
- 3 本体をねじ4本(現地調達)で、固定します。



- 4 ゴムブッシング(付属品)にカッターなどで十文字に切目を入れる。



- 5 ゴムブッシングをケーブル通し孔にはめこみ、ケーブルを通す

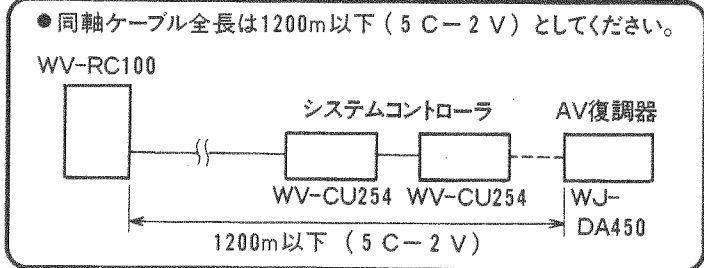
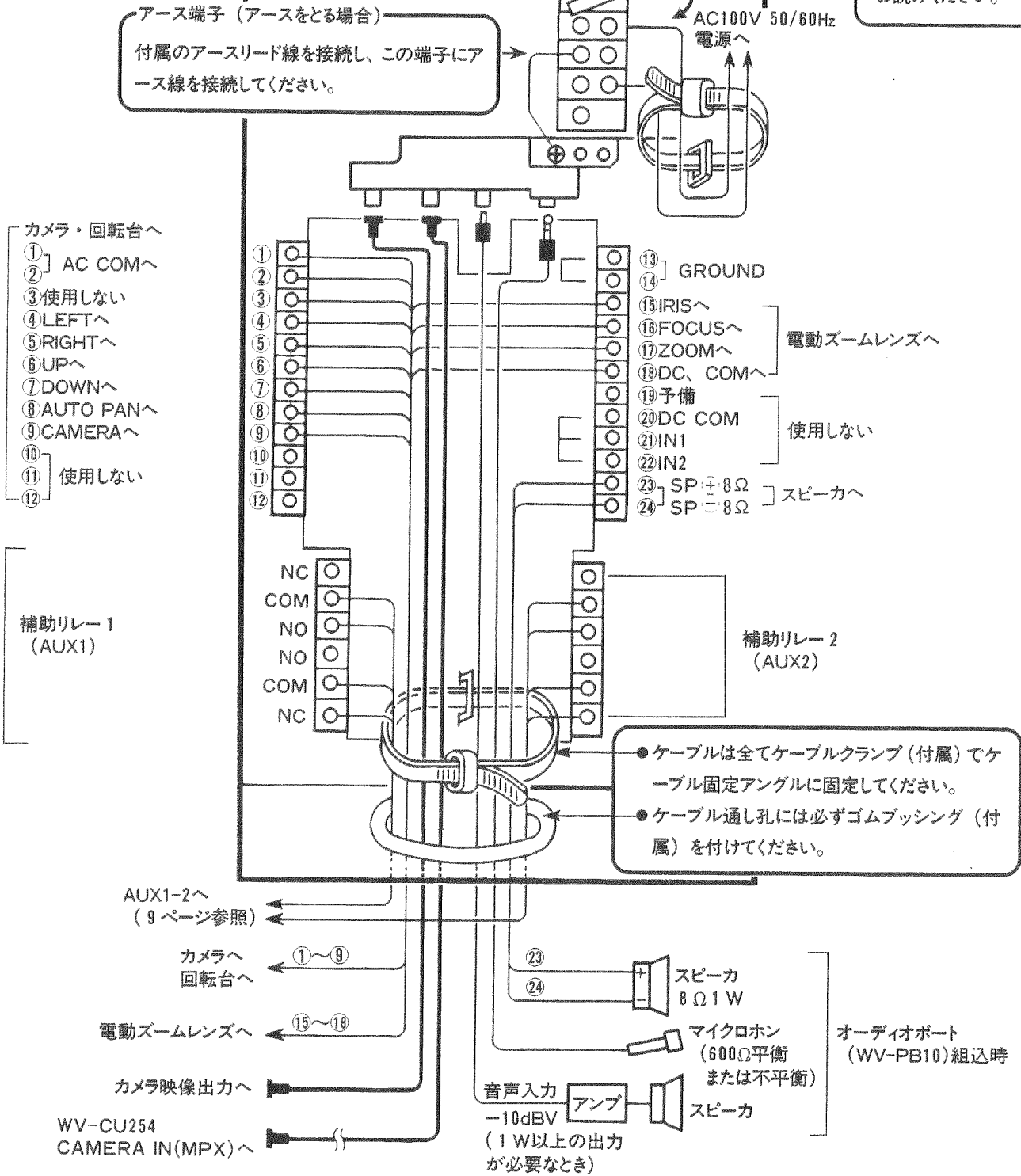


接続のしかた

■接続のしかた

端子カバーは接続後必ず付けてください。

レシーバーと回転台間の接続、距離は各機器の取扱説明書をお読みください。

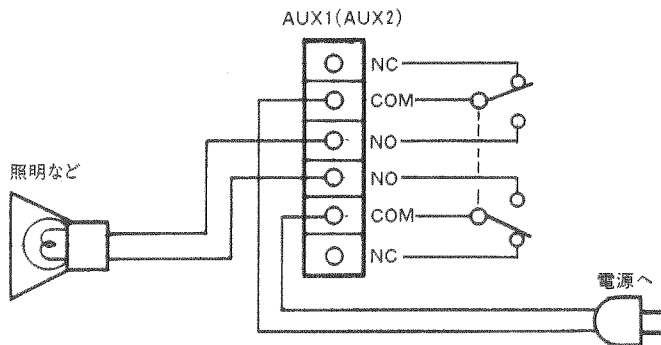


- BNCコネクタ 同軸ケーブル (5C-2V)
- ピンプラグ シールド線
- 大形複式プラグ マイクケーブル

接続のしかた

■補助リレー (AUX1、2) の接続

照明器具や電気錠などをコントローラ側から入切するのに使用します。モーメンタリーモードとラッチモード(10ページ参照)があり、用途に合わせて選択します。



NC端子：常時入（動作時切）
NO端子：常時切（動作時入）
用途に応じてどちらかを使用する。
AC100V 50/60Hz
※5 A以下 (COSφ=1)
3.5A以下 (COSφ=0.4)

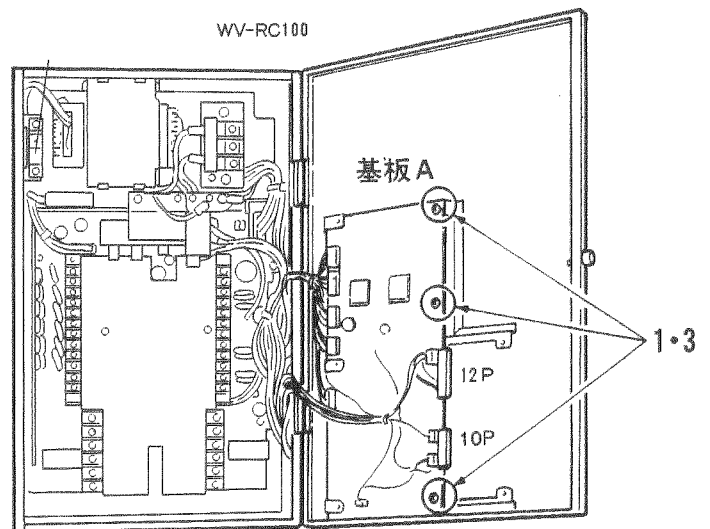
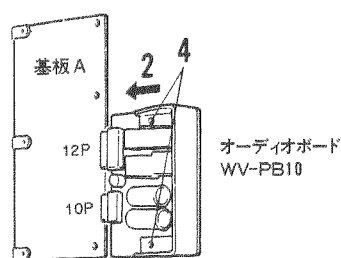
ご注意

※電源入切時のラッシュ電流もリレーの定格を越えないようにしてください。

■オーディオボードWV-PB10 (別売) の組み込みかた

- カメラ側とコントローラ側で、マイクロホン、スピーカを通して双方向の音声通信 (音声モニタ) ができます。
- WV-PB10をレシーバーに、WV-PB11 (別売) をコントローラWV-CU254に組み込みます。
(WV-PB11の組み込みかたは、コントローラまたはWV-PB11の取扱説明書によってください。)

- 1 基板Aのねじ3本をはずす。
- 2 基板Aを少し手前に引き、オーディオボードを基板Aのコネクタに差し込む。
- 3 基板Aを元通り、外したねじ3本で止める。
- 4 オーディオボードをねじ2本 (付属品) で止める。



- 基板上の部品がケースに接触しないように注意して組み込んでください。

スイッチの設定

■使用／未使用スイッチ（SW1）の設定

- 動作させる機器のスイッチを使用側（ON）にしてください。

使用（ON） →機器を動作させるとき。

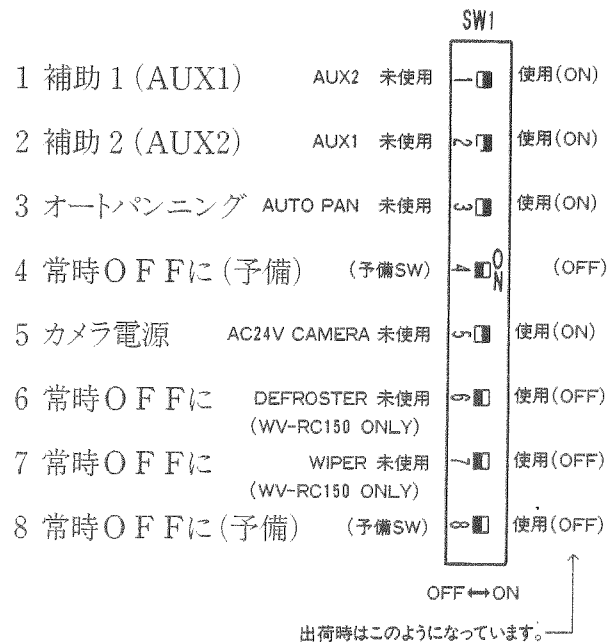
未使用（OFF） →接続されていないとき。または接続されていても動作させないとき。

- 各スイッチの状態はコントローラWV-CU254に接続されたビデオ受像機に表示されます。

（詳しくはWV-CU254の説明書をご覧ください。）

（例）

ELEZOOM	: POS-1
SHUTTER	: 1/250
SENS UP	: OFF
RANDOM	: OFF
AUTO PAN	: OFF
CAMERA	: ON
AUX 1	: OFF
AUX 2	: OFF



■モードスイッチ（SW2）の設定

- ランダムパンニングのモード選択（SW2-1）

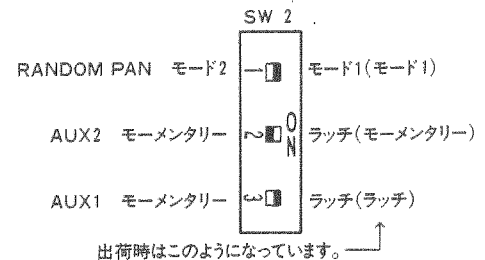
- ランダムパンニング（水平回転台を予知できないように不規則に動かすこと。）は、2モードあり、どちらかを選択します。
- ランダムパンニングは、オートパンニング（自動）機能のある回転台（WV-7220D、WV-7225）だけ動作できます。（その他の回転台では動作できません。）

モード1 → 間欠自動水平回転

動作・停止を繰り返す。（動作時間は調整でき、停止時間は動作時間の2倍です。次ページ参照）

モード2 → 不規則水平回転

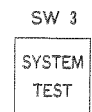
カメラの動きを予測できないように、不規則に動きます。（動きは予めプログラムされています。）



- 補助リレー（AUX1、AUX2）のモード設定（SW2-2、SW2-3）

モーメンタリー → コントローラWV-CU254のAUXスイッチを押している間だけリレーが動作します。

ラッチ → WV-CU254のAUXスイッチを押すとリレーはONとなり、再び押すとOFFとなります。（ON-OFF動作）



VR 201



調整とシステムテスト（動作確認）

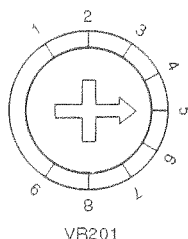
以下の調整とテストは、接続が完全に終り、誤接続などが無いか充分確認してから行ってください。

■ランダムパンニングの調整

●モード1の調整（パンニング時間（角度）の調整）

ランダムパンニング調整器（VR201）の矢印を、右表を目安にして設定してください。

矢印の位置	回転台のプリセット回転角度 (リミットスイッチ設定角度)
1	10°以下
2	10° ~ 25°
3	25° ~ 55°
4	55° ~ 80°
5	80° ~ 110°
6	110° ~ 130°
7	130° ~ 150°
8	150° ~ 170°
9	170°以上



（VR201の周囲には、実際に数字は記されていません。）

●モード2の調整

- 1 システムテストスイッチ（SW3）を押しながら、電源スイッチを入れる。（回転台がオートパンニング開始）
- 2 回転台の動作を見ながら、回転台が回転角度の両端（リミットスイッチの位置）に達したときの停止時間が最も短くなるように、VR201を調整する。
 - ・ 停止時間が長いとき → VR201を反時計方向にまわす。
 - ・ リミットスイッチ位置にく → VR201を時計方向にまわす。
 - ・ 反転動作を何度か繰返し調整します。VR201の矢印は右表を目安にしてください。
- 3 調整が終わったら、電源スイッチを切る。

矢印の位置	回転台のプリセット回転角度 (リミットスイッチ設定角度)
1	25°以下
2	25° ~ 55°
3	55° ~ 100°
4	100° ~ 165°
5	165° ~ 220°
6	200° ~ 275°
7	275° ~ 300°
8	300° ~ 350°
9	350°以上

■ 電動ズームレンズの電圧調整

● 電圧切り換え

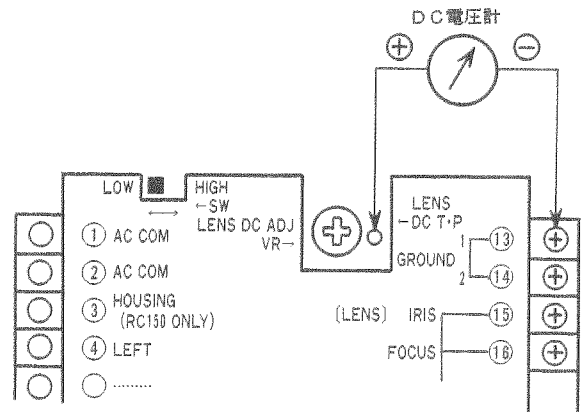
レンズの定格電圧に合わせてレンズ電圧切換スイッチを切り換えます。

LOW → 6 V レンズ (2 ~ 9 V 調整可能)

(出荷時に 6 V に調整済、電流 180 mA 以下)

HIGH → 12 V レンズ (8 ~ 15 V 調整可能)

(出荷時に 12 V に調整済、電流 330 mA 以下)



● 電圧の調整

- 1 電源スイッチを入れる。
- 2 テストポイントに DC 電圧計を接続する。
- 3 電圧計をみながらレンズ電圧調整器 (LENS DC ADJ VR) でレンズの定格電圧に合わせます。
(レンズ電圧は出荷時に LOW → 6 V、HIGH → 12 V に合わせてあります。)

■ システムテスト (動作確認)

接続されているカメラ、レンズ、回転台などの動作確認を自動的に行います。

システムテストスイッチ① (SW3) を押すと、各機器が、次の順序で短時間動作します。

1 回転台

左に 5 秒間動き、2 秒間停止



右に 5 秒間動き、2 秒間停止



上向きに 5 秒間動き、2 秒間停止



下向きに 5 秒間動き、2 秒間停止



5 秒間オートパンニングして停止 (オートパンニングのあるもののみ)



次頁へ

調整とシステムテスト



2 カメラの電源が5秒間切れ、再び電源が入る。



12秒経過後



3 アイリスが5秒間開いて (+)、2秒間停止。



5秒間閉じて (-)、2秒間停止。

(ALCレンズなどの自動絞りでは動作しません。)



4 フォーカスが5秒間遠距離 (-) になり、2秒間停止。



5秒間近距離 (+) になり、2秒間停止。

(パワーズームレンズ使用時のみ)



5 ズームが5秒間望遠 (+) になり、2秒間停止。



5秒間広角 (-) になり、2秒間停止。

(パワーズームレンズ使用時のみ)



6 補助リレー1が5秒間働く。



7 2秒後に、補助リレー2が5秒間働く。



8 テストを終わり、通常動作に戻る。

ご注意

1. 上記の時間は概略の時間です。
2. (+)、(-) の記号はレンズ制御電圧の極性を表しています。
3. テスト中にシステムテストスイッチ **①** を押すと、テストは中断され、その状態が継続します。スイッチをもう一度押すと、その状態からテストを再開します。

定格・付属品

● 定 格

電 源：AC100V 50/60 Hz
消費電力：85W
カメラ入力：1V[p-p]/75Ω(NTSC方式、BNC
コネクタ)
映像出力：1V[p-p]/75Ω(映像信号、BNC
コネクタ)
0.5V[p-p](制御信号)
0.13V[p-p](音声信号 FM多重)
マイク入力：-78dBV/600Ω平衡(大形複式
ジャック)
音声出力：-10dBV/負荷10KΩ(ピンジャ
ック)
スピーカ出力：1W/8Ω
(音声出力、スピーカ出力はWV
-PB10組込時)

制 御 機 能

カメラ電源：ON/OFF(AC24V 12W以下)
回 転 台：上下左右、オートパンニング
(ランダム可)
(AC24V 20W以下)

レ ン ズ：IRIS、FOCUS、ZOOM
(6V 180mA以下または12V 330
mA以下、2~15V調整可能)

補助(AUX)：ON/OFF 2回路(AC125V 5A以
下($\cos\phi=1$)、3.5A以下($\cos\phi=$
0.4))

使用温度：-10℃~+50℃

湿 度：95%以下

寸 法：200(幅)×320(高さ)×75(奥
行) mm
質 量：約4.7kg
仕 上 げ：メラミン焼付け塗装
(オフホワイト)

● 付属品

ケーブルクランプ 1
ゴムブッシング 3
アースリード線 1

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのもと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-RC100
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410